

子どもミーティングの  
「まちづくりの提言」に対する処理方針

平成22年度  
鹿児島市 市民協働課

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
1	公園について ① 公園は子どもも利用するので、夕方5時になったら音楽が流れるなど時刻を知らせる時計(風力発電・太陽光発電による)を設置してほしい。	公園における時計の設置につきましては、一定規模以上の都市公園について、必要性などに応じて時計を設置しておりますが、具体的に、どこの公園に設置してもらいたいという要望がありましたら、個別に検討したいと思います。
2	公園について ② 天文館公園でイベントを開催するなど、PRしてはどうか。またそれぞれの公園の特徴を整理し、活用方法をPRしてはどうか。	公園は、自然とのふれあいや憩いの場としての利用、各種イベントやスポーツのできる広場としてなど、子どもからお年寄りまでの幅広い年齢層の方々にご利用いただいておりますが、引き続き、多くの方々にご利用いただきたいと思います。 公園のPRにつきましては、本市ホームページや「かごしま暮らしのガイド(市民便利帳)」に、キャンプのできる公園やスポーツのできる公園など、施設の情報を掲載しております。
3	観光について ① 中央駅の観光案内板については、利用者の目線に立ったわかりやすい案内板を整備してほしい。	関係部署と連携し、わかりやすい観光案内板の整備を図りたいと考えております。
4	観光について ② 外国人観光客等のため、わかりやすい表記の案内板を増やしてほしい。また、多様な国の方が訪れることから、使用する言語も増やしてほしい。	観光案内板等について4ヶ国語化(英語、中国語(簡体語、繁体語)、韓国語)整備を行っているところであり、新たに設置する観光案内板等についても、同様の表記がされるよう整備いたします。
5	交通問題について ① 天文館地区において、土・日曜日に時間を設定し、地区内への自動車の進入を制限する。	地域住民、商店街、交通事業者や行政機関などからなる中心市街地活性化協議会において、一般車両の通行規制について協議がなされてきました。一般車両の迂回路の問題や、歩行者の安全確保など様々な問題があり、今すぐを実施するというわけにはいかないようです。

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
6	交通問題について ② 歩行者の安全を確保するとともに、雨・灰を避けるため、天文館地区に地下道を整備する。	地下道の整備につきましては、多額の費用を要することから、現在のところ予定はありませんが、関係機関と連携を図りながら、安全で快適な歩行者空間の確保に努めてまいります。
7	交通問題について ③ 中央駅地区は歩行者の安全を確保するために歩道橋を整備する。	鹿児島中央駅周辺につきましては、平成16年3月の駅前広場の完成以来、通行する方々の利便や安全性の向上に向けて対応を行ってきたところですが、今後とも、関係機関と連携を図る中で、必要な対応について検討してまいりたいと考えております。
8	交通問題について ④ 天文館地区の自転車駐輪場の場所がわかりにくく、放置自転車もまだ多い。そのため、放置自転車に対するモラルの向上を図るとともに駐輪場の場所の周知を図るため、駐輪場のチラシを全戸配布する。	駐輪場の案内のチラシにつきましては、毎年年度初めに市内全ての学校や各町内会等に対して約3,000枚を配付しております。また他にも学期始めのJR駅等におけるティッシュ配付や、市のホームページ・市民のひろばなどを通じて周知を図っておりますことから、全戸配布につきましては、現在のところ考えていないところです。
9	交通問題について ⑤ 自転車駐輪場については、受益者負担の原則はあるが、1回100円は中学生・高校生にとって金銭面の負担が大きい。そこで、天文館地区へ学生を呼び込む面からも、料金を無料化するかまたは定期利用に限らずに学生割引制度を導入してほしい。	学生の定期利用者につきましては金銭面の負担を考えて一般の方に比べて2割引としております。また、学生の一時利用につきましては、自転車は1回あたり(24時間)100円と他都市と同程度の安い料金を設定しておりますことから、現在のところ割引等は考えていません。

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
10	<p>その他 ① 旧5町との合併により生じた様々な問題を解決してほしい。</p>	<p>・農林水産業や豊かな自然などの新たな地域資源が加わり、大きな魅力を持った都市となりましたことから、これらを最大限に生かし、合併してよかったと思っただけのまちづくりを進めてきました。今後とも、旧5町地域の皆様からの地域のまちづくりに対するご意見や課題への対応を含め、それぞれの地域の特色を生かしながら、魅力ある鹿児島市の創造に、努めていきたいと考えています。</p> <p>・公園などの利用料金について、同じ種類のものは同じ料金にしました。</p> <p>・自治組織の取り扱いについては、3年間の経過措置を経て鹿児島市との一体化がなされました。鹿児島市が従来より実施している各種補助制度等についても、旧5町の自治組織に適用しており、これらを十分に活用しながら地域コミュニティの活性化を推進していただきたいと考えています。</p> <p>・旧5町全てに消防車・救急車のいる消防分遣隊を配置しており、現在のところ特に問題は生じていません。</p> <p>・水道施設は、旧鹿児島市と比べ、施設の水準に格差が見られたことから、これを解消するための施設整備を計画的に実施しています。</p>
11	<p>その他 ② 中央駅地区の再開発などが進み、街が新しくなっていることは喜ばしい。また、古い街並みや田園風景を残すことも大切であり、新しいものと古いものとが混在する街がいい。</p>	<p>ご提言にありますように、古い街並みや田園風景を残すことも大切であり、新しいものと古いものとが混在する街は風情があり必要であると考えております。</p> <p>なお、中央駅周辺におきましては、更なる個性と魅力あるまちづくりを継続して推進する必要があると考えており、これを実現するため、ワークショップ等により、地元の商店街や商業者と協働で、一体的なまちづくりに取り組むとともに、再開発等の施設整備にも反映していきたいと考えているところです。</p>

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
12	<p>校区公民館活動への子どもの参加</p> <p>① 校区公民館における役員の高齢化を是正するため、自分たち中・高校生が校区公民館活動に参加し、同時に保護者も巻き込み、若年層のまちづくりの意識を高める。</p>	<p>中・高校生の校区公民館活動への積極的な参加は役員の高齢化を是正するだけでなく、若年層のまちづくりの意識を高めることにもつながると思います。校区公民館関係の研修会等で子どもの参加への協力と理解をお願いしたいと考えています。</p>
13	<p>校区公民館活動への子どもの参加</p> <p>② さらに、郷中教育のように、今回子どもミーティングに参加したメンバーがそれぞれの校区で中心になり、「校区版子どもミーティング」を開催し、先輩が後輩を教えることを実践していく。</p>	<p>「校区版子どもミーティング」の開催は、校区公民館活動を活発にするために大変効果があると思います。市内79校区公民館で実施できる方法を今後検討していきます。</p>
14	<p>ボランティア活動の活性化</p> <p>① ボランティアセンターの場所や活動状況をわかりやすく案内するため、ボランティアセンターの情報を提供するコーナーを公共施設や中学校・高校などに設置する。</p>	<p>・ボランティアセンターでは、ボランティア情報を掲載した「ボラセンだより」を年3回発行し、公共施設や学校等に配布しているところですが、ボランティアの情報をより多くの方に案内できるよう、ボランティアセンターを運営する市社会福祉協議会と連携・協力しながら取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>・ボランティア活動を実施することは、児童生徒にとって教育的な効果の高い活動であると認識していることから、ボランティアセンター等からの情報を学校へ提供していただき、各学校には児童生徒へ積極的に知らせるようお願いしたいと考えています。</p>

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
15	<p>ボランティア活動の活性化 ② 中高生のボランティア活動を活発にするため、1日体験ボランティアで学べるようにする。</p>	<p>・市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターでは、児童・生徒を対象とした「サマーボランティア」等、ボランティア活動に対しての理解や関心が深まるよう体験ボランティアを開催しているところだす。</p> <p>・ボランティアに関する教育活動は、各学校で総合的な学習の時間や特別活動の時間等を活用して、河川や海浜、校区などの地域の清掃活動や福祉施設訪問等により介護ボランティア活動等を実施しています。</p> <p>今後とも各学校の特色を生かしてボランティア活動などを積極的に実施するようお願いしてまいります。</p>
16	<p>ボランティア活動の活性化 ③ 活動前にボランティアに関する必要最低限の学習を行い、十分理解したうえでボランティア活動をする。</p>	<p>ボランティアセンターでは、これからボランティア活動などを始めたい方などを対象としたボランティア入門講座を開催しているところだす。</p>
17	<p>ボランティア活動の活性化 ④ 正しいボランティア活動や知識を教えてくれる「ボランティアのためのボランティア」を育成する。</p>	<p>ボランティアセンターでは、ボランティア活動についての知識の習得や実践に役立てていただくため、ボランティアコーディネーター等が学校や企業に出向き、出前講座を開催しているところだす。</p>
18	<p>町内会の活動内容についての情報発信 ① それぞれの町内会で行っていることを描いたポスターを作製し、地域の学校や町内で展示する。</p>	<p>現在、市内には801の町内会があり、それぞれが地域の特性を活かしてそれぞれの活動に取り組んでおられます。</p> <p>地域の皆さんが自らの活動を情報発信することで、地域の一体感が高まり、また地域活動に対する理解と一層の促進が図られ、住みよい地域づくりに果たす役割は大きいものと考えます。</p> <p>今後、事業紹介の機会を捉えて、学校に対しての情報発信を充実するよう伝えたいと思います。</p>

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
19	町内会の活動内容についての情報発信 ② 町内会の加入率を維持・向上できるように「町内会集会」を開催する。	近年のライフスタイルの変化や、個人の地域への帰属意識の希薄化等に伴い町内会未加入の世帯が増加の傾向にあります。 鹿児島市では、「コミュニティ交流会」や「コミュニティ研修会」などを開催し、町内会間の情報の共有化を図るとともに、平成22年度より「町内会加入促進緊急支援事業」を実施しております。 今後、事業紹介の機会を捉えて、若い中学生・高校生からご提言があったことを町内会にお伝えしたいと思います。
20	町内会の活動内容についての情報発信 ③ 自分たち中学生・高校生も町内会活動に参加し、町内会を盛り上げていく。	いずれの町内会も、より住みよい地域づくりを目的として結成されており、個人では解決出来ない地域の様々な問題の解決や、地域環境の維持、住民相互の親睦等に関して中心的な役割を担っております。 中学生・高校生の若年層が町内会活動に参加することで、活動の活性化が図られ、地域への誇りと愛着のもてる地域社会の構築につながると考えます。 今後、事業紹介の機会を捉えて、若年層の取り込み強化を促してまいりたいと思います。
21	歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える ① 現在天文館で鹿児島の偉人たちがアニメのキャラクターのように楽しく表現された顔出し看板が設置されている。この顔出し看板の裏に偉人に関連した史跡の情報を書いて、他の場所も訪れてもらえるように紹介してはどうか。	商店街が、観光客等を歓迎するとともに、滞留時間の拡大を期待して各所に設置したもので、引き続き商店街で管理されておりますので、ご提言の内容につきましては、商店街にお伝えしたいと思います。
22	歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える ② たくさんの人が集まるようなイベント(例えば、嵐やエグザイルなどのコンサート、日本代表の出るサッカーイベントなど)を開催して、そこで鹿児島のすばらしい文化・伝統についての情報を発信する。	現在、本市において実施しているおはら祭や、かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会においては、観光紹介ブース等を設置し、鹿児島のすばらしい文化・伝統についての情報を発信して観光客へのPRを図ってまいります。



# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
23	<p>歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える                      ③ 全国的に「ゆるキャラ」がブームである。鹿児島でも、これまで活躍してきたキャラクターにプラスして、新しい「ゆるキャラ」を作ったらどうか。</p>	<p>キャラクターを活用したPRについては、県のPRキャラクター「さくらじまん」や花かごしま2011のマスコットキャラクター「ぐりぶー」などを、市が行う観光キャンペーンにおいても活用しているところ。また、西郷隆盛、篤姫、大久保利通、島津斉彬、小松帯刀に扮したかごしま観光PRキャラバン隊による観光PRも好評をいただいています。                      その他、民間の事業者においても、既に様々なキャラクターがつけられていることから、現時点では市独自のキャラクターの創設は考えていないところ。</p>
24	<p>歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える                      ④ 桜島には多くの観光客が訪れて、なかには一周する方々も多い。車やバスで巡るのも楽しいが、ゆっくりと巡れる自転車の利用をもっと薦めたい。そのためには、まず桜島にサイクリングしやすい環境(案内板や自転車用のマップなど)を整備することも必要と考える。</p>	<p>現在、桜島を訪れる観光客に対しては、歩行や自転車、自動車など、あらゆる交通手段で島内の観光施設へアクセスできるよう、観光案内板の整備や観光パンフレットの充実を図っているところ。</p>
25	<p>歴史・文化・伝統をわかりやすく伝える                      ⑤ 薩摩切子をデザインしたオブジェなどは、若い人にも目に付く。もっとこのデザインを活用して、まちのいろんな場所で見かけることが出来るようにしたらどうか。</p>	<p>鹿児島とゆかりがあり、江戸時代後期から明治、大正にかけて様々な分野で活躍し、日本の歴史に大きな足跡を残した偉人たちの像を7箇所を設置し、鹿児島中央駅から、いづろ・天文館地区の回遊性の向上を図っているところ。</p>



# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
26	<p>鹿児島を訪れる外国人(観光客を含む)への対応</p> <p>① 鹿児島を訪れる外国人には、しっかりと鹿児島の歴史や文化について知ってもらいたい。そのため滞在時間を有効に活用してもらえるように、外国人に人気のある場所への行き方(公共交通機関)の表示はしっかりとわかりやすいものが必要だ。</p>	<p>・本市では、公共交通を軸とした交通体系の構築に向けて、市民・交通事業者・行政等が一体となった取組を進めるため、「鹿児島市公共交通ビジョン」を策定したところです。計画では、交通案内情報の充実やわかりやすく・使いやすい情報の提供に取り組むこととしており、県・市等で運営している交通ナビかごしま(公共交通総合案内システム)のデータ拡充や機能更新などを行う中で、外国人観光客の利用にも十分配慮した改善を行っていきたいと考えています。</p> <p>・観光案内板等については4ヶ国語化(英語、中国語(簡体語、繁体語)、韓国語)整備を行っているところです。</p>
27	<p>鹿児島を訪れる外国人(観光客を含む)への対応</p> <p>② 天文館や郊外の大型店などで集中的にショッピングを楽しむ外国人が増加傾向にある。そこで特に天文館などのお店の看板などに何が売ってあるかが、マークでも言語でもいいからすぐに理解できるような表示があったらいい。</p>	<p>外国語の看板や陳列広告を掲示するなどの対応をされている店舗や、商店街単位で外国語の勉強会を開催されているところもあるようですので、ご提言の内容につきましては、商店街にお伝えしたいと考えております。</p>
28	<p>鹿児島を訪れる外国人(観光客を含む)への対応</p> <p>③ 埠頭や空港などで英語やハンゲル語等による観光地マップ(どこで何が買えるかまでの具体的なものが書いてあるもの)が必要と考える。 また、案内できるような外国語をしっかりと話せるガイドやホテルマンの研修があってもいい。</p>	<p>海外観光客船が入港するマリポートかごしまには、お土産屋や飲食店等の情報を掲載したグルメマップなど、外国語に対応したパンフレットを設置しており、鹿児島空港においても、同様に外国語に対応したパンフレットを数種類設置しているところです。</p> <p>また、海外観光客船入港時には、通訳ボランティアの活用を図っているとともに、関係機関が実施する研修にも本市としても連携を図りながら取り組んでいるところです。</p>

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
29	<p>若い人への対応</p> <p>① 桜島フェリーやバスに広告だけではなく、アニメや有名人を描けたらいいと思う。飛行機や列車にペイントされているのを見かけることがあるし、こうした乗り物がまちなかや錦江湾にあると楽しい。</p>	<p>・桜島フェリーについては、原油高や車両収入の減等による厳しい経営状況を踏まえ、船舶内やターミナル等に広告スペースを設け、積極的に広告収入の確保に努めておりますが、船舶の船体については、広告の効果や広告物の耐久性の問題等から、現在のところは広告媒体として活用していないところです。また、「アニメ等を描く」ことについても、その使用料や作成にかかる経費が必要となることから、現在のところ考えていないところです。</p> <p>・バスの車体は広告媒体として活用しており、交通局にとって大切な収入源です。その車体に交通局で「アニメや有名人を描く」ということは、その使用料が必要になる上、広告用として使用できなくなります。ただし、このようなデザインは皆が楽しめるものであると考えていますので、交通局としては、広告として「アニメや有名人を描いたデザイン」が掲出されることを望んでいるところです。</p>
30	<p>若い人への対応</p> <p>② 世界的にみても現在オタク文化(アニメやアイドルなど)に代表されるようなものがブームなので、鹿児島にも充実した店舗などがあってもいいのでは。その中で鹿児島らしさを出したようなキャラやアニメの舞台に桜島などが登場するように誘致してもいいのでは。</p>	<p>アニメを活用した鹿児島のPRについては、昨年、県や本市を含めた関係自治体などで構成する観光かごしま大キャンペーン推進協議会において取り組み、桜島をはじめとする鹿児島の観光地が登場する「銀河鉄道999」のショートアニメが制作・上映されたところです。</p> <p>また、現在、民間の事業者が、鹿児島の歴史や特産品を題材としたローカルヒーロー「薩摩剣士隼人」を制作し、キャラクターショーの実施やテレビ番組放送に向けて取り組んでおられます。</p> <p>本市としては、こうした取り組みを広く紹介していくとともに、ドラマやアニメなどの題材として鹿児島が取り上げられるよう、本市の魅力の情報発信に積極的に取り組みたいと考えております。</p>

# 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
31	<p>高齢者に住みよい街に ① もっといろんな公共施設や公共の空間に階段にスロープや手すりを付ける。まだまだ不足している。</p>	<p>・「鹿児島県福祉のまちづくり条例」、「鹿児島市福祉環境整備指針」に基づいて、建築物の新築や改築を行う者に対してスロープや手すりの設置等について指導・助言を行うなど、障害者等すべての人が円滑に利用できる建築物のバリアフリー化を推進しています。高齢者福祉センターにおいては、高齢者の方々が利用しやすいように、館内のバリアフリー化に努めております。今後も同様の施設を建設する場合は、高齢者の方々が使いやすい施設にしていきたいと思います。</p> <p>・高齢者等の地域コミュニティ活動への参加促進を図るため、町内会等が行う既存の集会場のバリアフリー化に対し、補助を実施しています。</p>
32	<p>高齢者に住みよい街に ② ハード整備だけでなく、声かけや手を差し伸べることで高齢者は活動がしやすくなる。心遣いが大切である。</p>	<p>・平成22年度の新規事業として、民生委員をはじめとした地域の団体などが協働して閉じこもりがちな高齢者等を訪問し、声かけを行う「高齢者ふれあい・仲間づくり推進事業」を実施し、仲間づくりや社会参加が推進されるよう努めたところです。</p> <p>また、地域のひとり暮らし等の高齢者に声かけなどを行うボランティアグループである「ともしびグループ」の活動推進、昼食などをお届けし安否確認を行う「訪問給食」、閉じこもりがちな高齢者とふれあいを深める目的で会食を行う「ふれあい会食」を実施し、声かけ等を行っています。</p> <p>・高齢者や体の不自由な方々が交通機関に乗降する際には、職員が必要に応じて車椅子等の補助を行っており、今後とも高齢者が利用しやすい環境作りに積極的に取り組んでいきたいと考えております。</p>
33	<p>高齢者に住みよい街に ③ 空港などにある動く歩道を増やしてもいいのでは。</p>	<p>高齢者や身体の不自由な方々が街中を快適に移動できるよう、歩道のバリアフリー化を実施していますが、動く歩道については、現在のところ困難ではないかと考えております。</p>

## 「子どもミーティング」の提言とその対応

平成22年度 子どもミーティング

番号	提言内容	対応
34	高齢者に住みよい街に ④ 公園などの休憩のできる場所にベンチを増やす。特に天文館などの中心市街地には欲しい。	公園へのベンチの設置につきましては、利用状況などを踏まえ、必要に応じて検討してまいります。
35	高齢者に住みよい街に ⑤ 高齢者が訪れる場所に、きれいな水洗トイレを設置する。トイレは高齢者に限らず、観光客にとっても鹿児島県の好印象につながる。	水洗トイレのない施設については、利用状況等を勘案し、設置を検討します。また、既存の水洗トイレについても、快適に利用できるよう清掃を徹底します。